



2021.6.11 瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

父の日はやってくる!

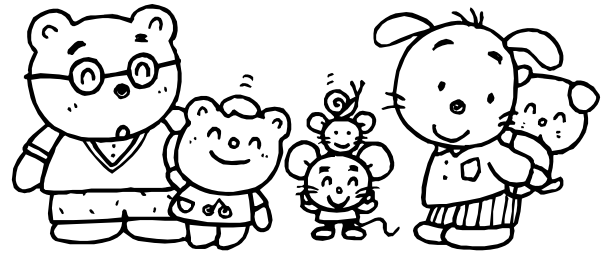
20日は「父の日」です。全国のお父様には申し訳ありませんが、「母の日」に比べて「父の日」は影が薄い！この原因はどこから来るのか。日本の父親が家事・育児に関わる時間は世界一少ないという統計結果があります。「そんなこと言っただって、手伝いたいと思っても早く帰れない。育児休暇も取れない。将来の出世が・・・」

等々、様々なご意見があるのはごもっとも。今の日本の現状では父親と過ごす時間が本当に少なく、だからこそ「父の日」は影が薄く、プレゼントを渡す人も「母の日」に比べると少ないようです。

でも、時代はどんどん変わっていきます。いえ、変えなくてはいけない時に来ました。就労人口が減少し、高齢化・少子化は加速する一方です。それを埋めるために益々女性の就労は進み、そうなると家事・育児を分担してもらわないと仕事が続きません。やっと日本も変化する時代がやってきそうです。

6月3日、衆議院本会議で「改正育児・介護休業法」が成立しました。子どもが生まれて8週間以内に夫が計4週分の休みを取れる「出生時育児休業（男性版産休）」が新設されたのです。夫婦が協力して家事や育児を担い、安心して子育てできる環境整備を後押しする、というのです。

最近のパパたちは積極的に家事・育児に関わってきていると思います。だからこそ男性から育児休業を言い出しにくい現状がもっと変わりますように。そうすればお母さんも助かり、心も体も安定し、家族みんなが笑顔になります。家庭内でのお父さんの比率が高くなれば「父の日」ももっと盛り上がるはず！



先生、こっちに来て

先日、2・3歳児クラスのお手伝いに入った時のこと。子どもたちは私の顔を覚えてくれて、とってもこやかに「園長先生」と出迎えてくれます。しばらく一緒に遊んだ後、「トイレ号出発」と半数近くの子をトイレに連れて行きました。

担任のサポートで私もついていき、決められた場所で上靴を脱がせます。その後、ズボン・パンツ（紙おむつ）を脱がせてトイレに送り込みます。すでに濡れている紙おむつは交換し、新しい物を履かせます。その間、トイレの中も見守り、ちゃんと用を足したか、

トイレトーパーでふけているか等を確認して回ります。

すると、ある男の子が「先生、こっちに来て」と手を引いて連れてくれるのです。他の先生が、「さっきウオチが出たから、報告したいのかも。」「はいはい、どこ?」とついていくと、トイレの中ではなく男子用便器の横。よくよく見るとそこに小さな塊が1個ポツンと。「ひえ～、ウオチだ!」大慌てでペーパーでふき取り、水を流して掃除をしました。「教えてくれてありがとう。」私にもウン（運?）がついたかな。

スポーツの力

東京オリンピック・パラリンピックが迫ってきました。昨年開催される予定が、新型コロナウイルス流行により1年延期となりましたが、未だに開催に向けて賛否両論あり難問です。4年に1度のスポーツの祭典。代表になるためにスポーツ選手の毎日の練習・メンタル・健康管理等、我々の想像を絶する努力が日々積み重ねられていると思います。体操の内村航平選手、水泳の池江梨花選手、日本新を出した陸上の山県亮太選手等々、ケガや病気から復活され、オリンピックにかける執念を考えると、その努力が報われてほしいと願わずにはいられません。

スポーツが我々に与えてくれる力は壮大なものです。選手の試合に臨むその姿からエネルギーを、試合後の結果から大きな感動をもらいます。このコロナ禍だからこそ、スポーツ選手から大きな力を与えられている私たちです。大会の開催有無に限らず、どんな時も見守りながら応援を続けたいですね。

